



上柚木地区

# 防災ワークショップ

2022年10月23日（日）@八王子市立愛宕小学校



# 防災ワークショップ2022 概要

日時 2022年10月23日(日) 9時～12時半

場所 八王子市立愛宕小学校

実施団体 青少年対策上柚木地区委員会防災訓練実行委員会、愛宕会、かみゆぎ会、上柚木中PTA

参加団体 上柚木中学校1年生(授業 8:30～12:30 約100名3クラス)、南大沢一番街など地域住民

協力団体 東京都立大学 市古太郎教授、市古研究室、八王子市防災課、八王子消防署由木分署、

八王子市水環境課水再生センター、消防団第12分団、八王子市福祉課

参加人数 総合計 331名

愛宕小学校 約120名、上柚木小学校約40名、上柚木中学校136名、都立大学 市古研究室9名、  
一番街住民15名、一般参加者20名、防災課3名、消防署10名、消防団5名、水環境課4名、水再生センター3名

## グループトーク

小中学校の保護者、上柚木中1年生、地域の住民がグループになって、防災の様々なテーマについて意見を出し合い、模造紙にまとめる。

協力 東京都立大学 市古太郎教授、市古研究室

## 9種類の体験

### ① 応急給水訓練

協力 八王子市水環境課

### ② 給水訓練

協力 八王子市水環境課

### ③ マンホールトイレ

協力 八王子市水環境課水再生センター

### ④ 初期消火訓練

協力 八王子消防署由木分署

### ⑤ 応急救護訓練

協力 八王子消防署由木分署

### ⑥ 通報訓練 119番

協力 八王子消防署由木分署

### ⑦ 救助体験

協力 八王子消防署由木分署

### ⑧ トイレトラブル講座

協力 東京都立大学市古研究室

### ⑨ テント設営訓練

協力 愛宕小保護者

## 小学生の防災ワーク

小学生も防災について考えるきっかけとなるワーク。自分の防災リュックを考えたり、カルタをしたりして楽しみながら防災に触れるコーナー。

## 展示

各地域のポスターセッションやローリングストックの展示、避難所の広さ体験スペースやペット避難など、防災について見て学ぶコーナー。

# グループトーク

小中学校の保護者、地域の住民、中学生がランダムにグループとなり、ファシリテーターの進行の元、話し合いを行った。

## テーマ

### 前半

10:00~11:00

上柚木地区での発生に不安を感じている自然災害

家庭でどんな備えをしていますか？

### 後半

11:05~12:00

地域の昔の地形マップから学ぶ

台風情報と判断行動

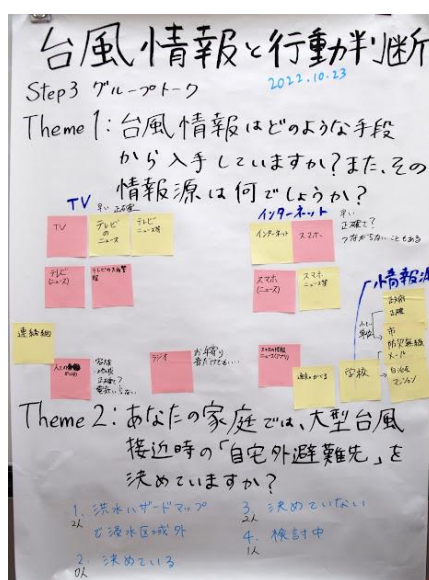
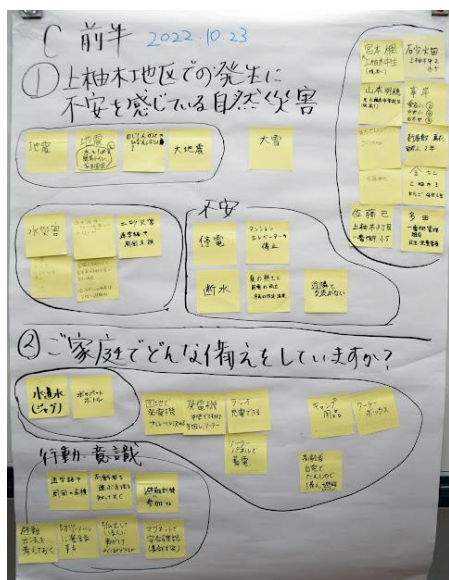
高齢者・障害者の災害時避難支援

災害時の電源確保

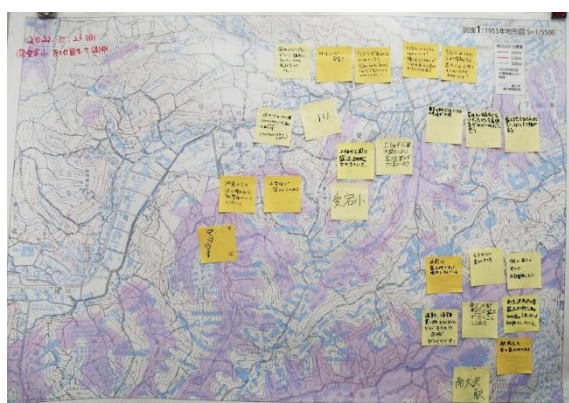
集合住宅間の連携

ペットとの避難生活





ファシリテーターの進行に沿って、まずは自己紹介からスタート。テーマについてみんなで考え、自分の意見をポストイットに書いてもらう。発表しながら、一枚の模造紙に貼ってまとめていく。グループワークの最後に、各グループの代表者がどのような意見が出たかを発表して全体で共有する。



## 9種類の体験

今年度は上柚木中学校の1年生が授業の一環として参加をした。  
また、地域の住民や保護者も見学や体験をした。

### ① 応急給水訓練

応急給水栓に組み立てたスタンドパイプを立てて水を出す。出始めの水はごみが入っている事があるので白い容器に出して捨てる。塩素を入れて殺菌し、薬剤を入れて色で安全な水かをチェックする。安全を確認した後、給水を開始する。

- ✓ 学校には給水できる設備がある
- ✓ 市の職員が来るまでは設置ができないので、家での水の蓄えは必須!
- ✓ 水を入れる容器は自分で用意する

#### 持参する容器・運び方も考えておこう

口が大きいタンクがおすすめ

ペットボトルなど口が狭い容器は水の勢いが強くこぼれてしまうのでお勧めしない。また、運ぶのはとても重いので背負える給水袋や台車やキャスター付きのものなどがあると便利。



スタンドパイプを立てて説明を聞きます



水が出た!

### ② 給水訓練

八王子市に1台しかない給水車。1台で2トンの水を蓄えられる。

給水車から色々な容器で水をもらって運んでみよう。

- ✓ 給水車は医療施設を優先するので、避難所に来ることは無い!
- ✓ 1台2トンの水は多いようだが、4人家族166世帯の1日分しかない。
- ✓ 水を入れる容器は自分で用意する  
→容器は広い口のもの、運びやすい形状のものがおすすめ



クイズ形式で給水車について学び



ペットボトル、タンクなど、色々な容器に水を入れてみる

#### 家での水の蓄えは必須!!

残念ながら災害時に避難所に給水車は来ない。また給水栓からの給水も開始まで時間がかかるので、家での水の備蓄がとても大事となる。水道水をペットボトルに入れて冷蔵庫に入れておくのもOK。

1人1日3ℓ×3日分=9ℓ×家族分

### ③ マンホールトイレ

専用のマンホールの上に設置するマンホールトイレ。パネルの組み立てをしてマンホールの上に立てねじで留めて固定する。中にトイレを設置する。水は流せる？説明を聞き仕組みを学ぶ。

- ✓ 災害時には通常のトイレは使えなくなる可能性が高い
- ✓ 愛宕小にマンホールトイレは4基ある
- ✓ 水が流れるようになっており、カギもかかる
- ✓ 地下に汚物が溜まるようになっていて、プールの水を使って1日に1回下水へ流せるようになっている

#### 組み立ては自主的に行う可能性が高い！

災害時には市の職員の方は医療施設に優先的に行くので、避難所に来るまで時間がかかる。学校にマンホールトイレの設備と説明書があること、覚えておきましょう。



青いパネルを組み立てて、壁を作る



マンホールトイレの仕組みを学び、トイレを見学

### ④ 初期消火訓練

火事が起こった時にどうするか？消火器の説明を聞いた後に実際に消火器を使って消火の体験をする。また、火事の種類について学ぶ。

- ✓ まず周りに知らせる「火事だー！」
- ✓ 消火器は①ピンを抜く②消火器を持ち上げ③ホースを火に向けレバーを握る
- ✓ 消火器の種類はA B C 消火器

#### 火事があつたらまず周囲に知らせよう

火事を発見したら、まず大きな声で「火事だー！」と知らせよう。消火器は対象物に近づいてからレバーを握る。

火事の種類は3種類

- 普通火災（A火災）
- 油火災（B火災）
- 電気火災（C火災）



消火器を手にとって



消火器のレバーを握って消火！（訓練用なので中身は水）

## ⑤ 応急救護訓練

目の前で人が倒れたら…。対処の順序、心臓マッサージのやり方、AEDの使い方を体験してみよう。

✓ 倒れている人を発見したら

- ① 周囲の安全を確認
- ② 倒れている人の反応を見る  
「大丈夫ですか？もしもし？」
- ③ 周囲に助けを求める  
「誰か来てください！」
- ④ 指示を出す  
「あなたはAEDを持ってきて下さい」  
「あなたは119番をお願いします」
- ⑤ 10秒呼吸を感じなかったら心臓マッサージを行う
- ⑥ AED到着後、AEDを行う



助けを呼んで



心臓マッサージ



AEDの音声の指示に従って使用します

## ⑥ 119番 通報訓練

火事を見つけた時、倒れている人を見つけた時、通報の仕方はどうやってやるのだろう？訓練用の電話を使って119番をして、本物の消防職員さんに応答してもらう訓練。

✓ 火災や事故に遭遇し、119番通報する時は、落ち着いて次の内容を簡潔かつ正確に伝えよう。

### 119番通報のしかた

1. まず「火災」か「救急」かをはっきりと伝える
2. 場所を正確に伝える
3. 建物の名称または近くの目標を伝える
4. 火災は何が燃えているのか、事故は何がどうしたのか救急はどのような症状なのかを具体的に伝える



119番通報をします 「火災ですか？救急ですか？」



落ち着いて伝えます「救急です」

## ⑦ 救出救助訓練

倒れている人を発見したらどう対処しよう？身近なものを使って担架を作り、40kgの人形を運んで救出しよう

- ✓ 担架とは、病人や負傷者を乗せて運ぶ道具で2本の棒の間に布を張ったもの
- ✓ 鉄の棒2本と、布（大きいタオルやカーテンなど）で担架は作る事が出来る

### 担架で人を運ぶときには

病人や負傷者は全身に力が入っていないため、かなり重く感じる。人を担架の上まで運ぶのではなく、人を持ち上げて、担架を人の下に滑り込ませるようにして乗せると楽に乗せられる。しっかりと身体の下に手を入れこむと持ち上げる事が出来る。



鉄の棒2本（鉄馬）と大きい布で、担架を作ります



40kgの人（人形）を担架に乗せて運びます。

## ⑧ トイレラブル講座

災害時には、上下水道が止まってしまう事も。トイレが使えなかったらどうする？自宅で使える簡易トイレにはどんなものがあるのか。水を使わない災害トイレについて学ぼう。

### 2種類の実験

#### ① 水分の吸収の実験

【新聞紙・ペットシート・凝固剤】

よく吸収して、かさ張らないのは

→凝固剤

#### ② 臭い漏れの実験（ビニール袋）

【ポリプロピレン・ポリエチレン】

臭いにくいのは

→ポリプロピレンのビニール袋

簡易トイレには、凝固剤とポリプロピレンの袋がベスト。ポリプロピレンはパンの袋に使われているのでストックしておく役立つ。



ビニール袋に凝固剤を入れて



どんな様子かな

カレー粉を入れて臭いを確認



## ⑨ 屋外避難訓練（テント）

屋外で避難する時、役に立つのがテント。コロナ禍を経て、災害時のプライベートスペースの確保も大事になってきている。テントはどうやって建てるのか。中はどのくらいの広さか？体験してみる。

- ✓ 屋内の避難所の中では、プライベートスペースの確保のためにポップアップテント（簡易テント）を使う
- ✓ 屋外ではキャンプ用のテントが良い。組み立てには少し時間がかかるが、地面にペグを打ち込むことで雨風に強い居住空間が出来上がる。

### キャンプ用品は防災グッズになる

キャンプの道具はそのまま災害時に使えることが多い。テントやランタンや寝袋、カセットコンロなど、キャンプ目的も兼ねて揃えておくのも良いのかも。



骨組みを入れてテントを組み立てる



テントの中はどんな様子だろう



たたむところまで体験

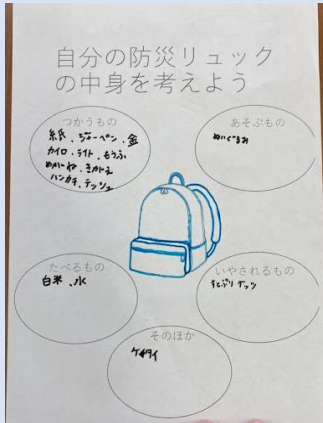
当日の様子…お天気に恵まれて、あたたかな日差しの中で開催が出来ました



# 小学生の防災ワーク

小学生も防災について考える。防災ってどんなもの？  
避難するときのリュックは何を入れる？考えてみよう

## 自分の防災リュックの中身を考えよう



何を入れようかな？ストレスが大きい災害時は、子供にとって「遊ぶもの」や「いやされるもの」も大事な荷物

## 防災リュックの中身 見本を見てみよう



子供用防災リュックの例



大人の防災リュックの例



どんなものが入っているかな？

## 防災カルタで楽しく防災を学ぼう



防災カルタ



始めます…



「まどガラス 割れたら危険 近寄らない」  
あ、あった！

# 展示

展示を見て地域の防災対策を知ろう。ペットの防災を考える。避難所のパーソナルスペースはどのくらい？

## ポスターセッション



ポスターを見て自分の地域の備蓄品や防災対策について知るコーナー

## ペットのケージ展示



避難所ではペットはケージに入れて人の避難場所から離れた場所で過ごすことになる

## 避難所広さ体験ゾーン



避難所の1人分のスペースの体験。支給される銀マットは薄いので、寝袋やクッションなど柔らかいものがあると良さそうだ。ポップアップテントはプライベート空間の確保が出来る

## ローリングストック



普段から少し多めに食材と加工品を保存しておくローリングストックの展示

## 新聞紙スリッパの作り方



災害時にはガラスが割れて裸足では歩けないことも。新聞紙スリッパの作り方を紹介するコーナー

## 体験プログラムカード



体験プログラムカードは各体験コーナーに展示